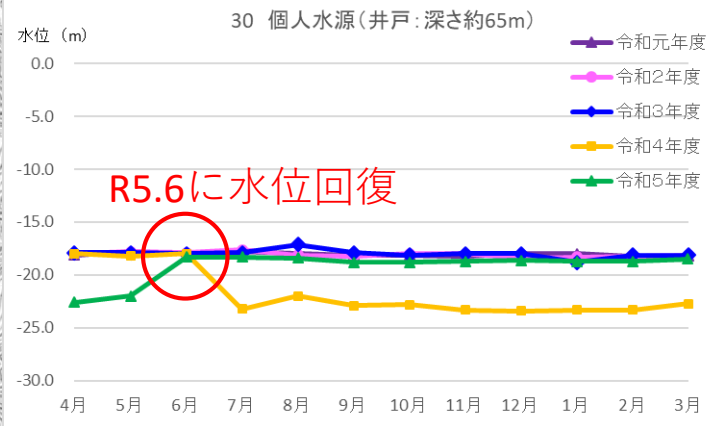
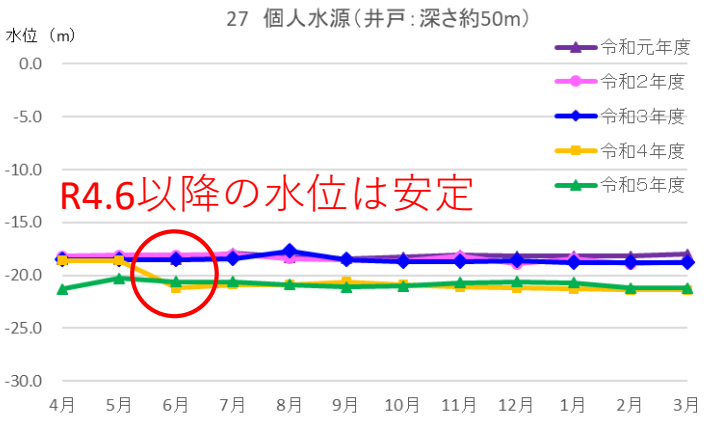
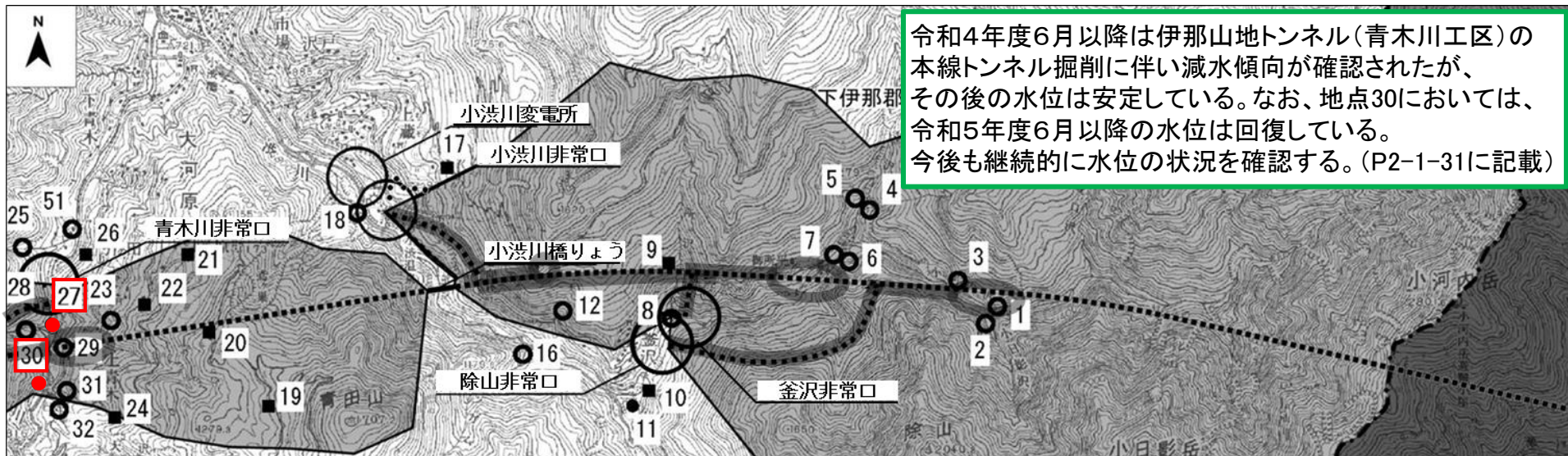


事後調査(2-1水資源(山岳トンネル))(調査地点図P2-1-6、グラフP2-1-31)

資料2-1

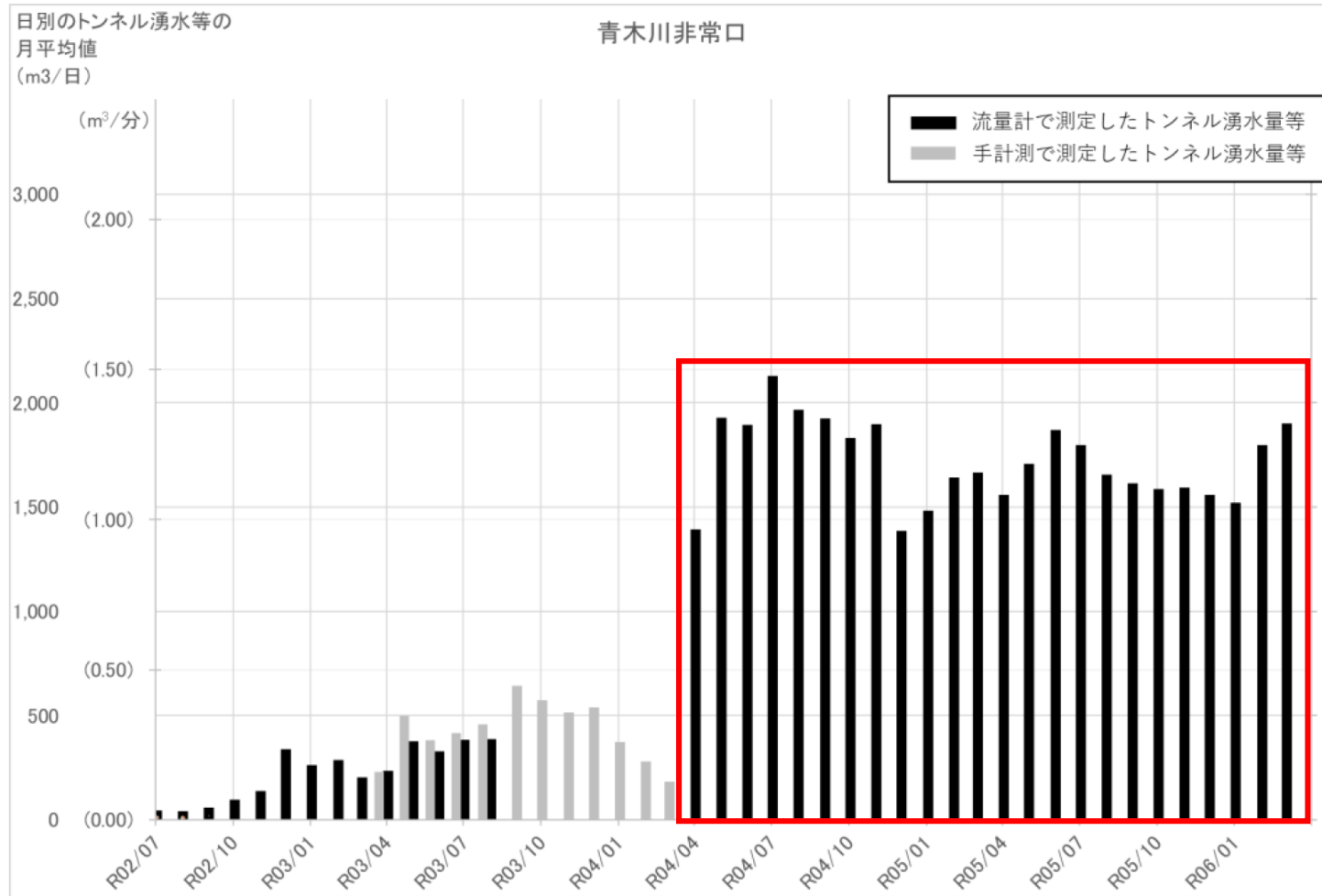
令和4年度6月以降は伊那山地トンネル(青木川工区)の本線トンネル掘削に伴い減水傾向が確認されたが、その後の水位は安定している。なお、地点30においては、令和5年度6月以降の水位は回復している。今後も継続的に水位の状況を確認する。(P2-1-31に記載)



- | | | |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■■■ 計画路線(トンネル区間) —— 計画路線(地上区間) 工事用道路 --- 県境 - - - 市町村境 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 予測検討範囲 非常口トンネル(斜坑) ■ 令和4年度までの掘削範囲 ○ 令和5年度の掘削範囲 | <ul style="list-style-type: none"> ● 井戸の水位(縦井戸) ■ 湧水の水量(湧水等) ○ 地表水の流量 |
|--|---|--|

図 2-1-2-1 (1) 調査地点(水資源)【大鹿村】

トンネル湧水等の状況(青木川非常口工事施工ヤードのトンネル湧水等(P参1-4))



注1：トンネル湧水等には、トンネル湧水のほか、工事排水、雨水を含む。

注2：令和3年9月以降は流量計の不具合によりトンネル湧水等注1とトンネル坑内の湧水量を手計測した結果の乖離が大きいため、令和3年4月から8月はトンネル湧水等注1と参考としてトンネル坑内の湧水量を手計測した値を並記し、令和3年9月から令和4年3月は参考としてトンネル坑内の湧水量を手計測した値を示す。

注3：令和4年4月以降、本線トンネル掘削に伴いトンネル湧水の増加傾向が確認されたものの、現在は一定の水準で安定している。周辺への影響を継続的に確認する。

図 参1-4 青木川非常口工事施工ヤードのトンネル湧水等^{注1}の状況